



マルチメディアセンター



本校の総合グラウンド



創設者能美ヨシ子先生像

創設者の能美ヨシ子先生は「これからは女性といえども勇敢に社会へ進出し、自立の道を自らの手で開拓し、強く正しく生きて行かねばならない」と黒崎地区の筒井に「八幡筑紫洋裁女学院」を設立。その後、女子の高等学校教育の必要性を考え、昭和39年（1964年）「成美高等学校」を青山の地に設立。昭和55年（1980年）に「青山女子高等学校」へ改名。平成13年（2001年）に「星琳高等学校」と改称し、翌年に男女共学校へ改編。普通科と食物調理科を有する現在の形となり、来年度は60周年を迎えます。

星琳高等学校

「星琳」のごとく光輝く人材の育成を目指す



「社会適応力」「地域貢献実践力」「星琳の志」の育成

「星琳」という校名には、「光り輝く星」になって欲しいとの思いと、目立たなくても「一隅を照らす星」となって欲しいという両方の願いが込められています。人間は自ら輝く時もある、人を支えたり、応援したりする場面や時があります。そのどちらとしても社会に輝ける人となるような人材育成を図っております。

そのために、三つの資質・能力向上を目指しています。まず、この激動の時代を生き抜くための知・徳・体を備えた「社会適応力」。現実の社会での実践活動を通じて社会を変革していくための「地域貢献実践力」。そして、校名の星琳のごとく光輝くために尽きることのないエネルギーを持った「星琳の志」を有する人材の育成を目指しております。

「挑戦」し、「進化」する学校へ変身！

部活動では、第105回全国高等学校野球選手権福岡大会で優勝候補の福岡大学附属大濠高校に勝利し、ベスト16に輝いた硬式野球部をはじめ、サッカー部、男子バスケットボール部はともに北九州地区優勝、県ベスト16へ進出。剣道部の女子個人では、北部・筑豊ブロック予選で優勝するなど非常に力をつけ

てきています。吹奏楽部は2021年第27回日本管楽合奏コンクール大会で全国大会出場という快挙を成し遂げました。また、スキー競技でインターハイや国体に出場する生徒が出るなど多士済々です。

また、第一薬科大学、九州女子大学及び九州女子短期大学との高大連携協定を結び、大学教員や学生との交流により、生徒の学問に対する意識改革が進んでおります。インターシッパや社会人講話も頻繁に行うなど「キャリア教育」も充実させています。

その成果もあり、進学では福岡教育大学や北九州市立大学等の国立大学や福岡大学の私立大学等にも現役合格者を出しています。就職も11年連続で就職希望者の就職率100%の実績が出ています。

さらに、吹奏楽部や食物調理科が「黒崎96の日」をはじめとした地域のイベントや市民センターの文化祭等への出演や出店が高く評価され、八幡西区長から感謝状の贈呈を受けました。現在は長い歴史を誇る入江製菓と「北九州ブランド」のお土産を製作するために九州女子大学、九州国際大学、西日本工業大学、黒崎商店組合連合会とともに企画を練っているところです。

これから、星琳高校は「地域に愛され、地域に必要とされ、地域と共に発展する学校」として「挑戦」を続け、アクティブに「変身」して参ります。どうぞ今後とも地域の方々のご支援ご指導をお願いしたいと思います。



星琳祭(文化祭)



本校体育祭(北九州総合体育館)



星琳高校校長 久保 英二

生徒の学校生活に関する「満足度」は86.9% (国立青少年教育振興機構調査2015全国平均80.1%) 「友人関係」は93.0% (同88.5%) となっております。また「星琳高校に誇りや愛着を持っている」は前年の68.9%から74.9%へと向上しています。それにとめない、進学や就職などの進路実績も向上しております。さらなる進化を遂げてまいりますので、これからも変わらぬご支援をお願いいたします。

校長より



八幡西区長からの表彰



食物調理科の実習風景



野球部



包丁授与式

